

高学年集会を行いました（4～6年生）



12月16日（金）に、4～6年生が、高学年集会を行いました。
 テーマは、『NO！ネットいじめ』です。

児童会主催の集会です。子どもたちは、2学期に時間をかけて『ネットいじめ』について調べました。それをもとに、以下の順に話し合いを進めました。司会進行は、5・6年の児童会役員です。NHK for school『いじめをノックアウト』（「トラブル続出！オンラインゲーム」）も一緒に視聴しながら考えました。

- ① ネットを使う良い点と悪い点について
- ② 『ネットいじめ』とは、どんないじめなのか
- ③ 本校の『ネットいじめ』の実態について（児童会がとったアンケート結果より）
- ④ 『ネットいじめ』を防ぐために、わたしたちにできること
 - ・なぜ、『ネットいじめ』が起こるのか
 - ・どうしたらトラブルを避けることができるのか
- ⑤ 『平庄小学校 ICT のルール』の見直し検討（4～6年生の児童）



今から、高学年集会を始めます。
 私たちは、だれでも、みんな、一人の人間として命が守られ、社会のルールの中で、明るく楽しい生活を送る権利を持っています。
 これは、だれもが、みんな、生まれた時から持っている大切な権利です。



『いじめ』は、人権を傷つけるととても大きな問題です。
 『いじめ』は、許されない行為で、絶対にあってはならないことです。
 相手をはやし立てたりしなくても、見ていだけや見て見ぬふりをする 것도、いじめている行為です。

心や体を傷つけ、つらい気持ちにさせる、この『いじめ』を、平庄小学校からなくすために、今日は、『ネットいじめ』について、高学年でしっかり話し合いをしましょう。

たくさんの意見を聞きたいと思いますので、どんどん手を挙げて発言してください。

① ネットを使う良い点と悪い点について



- 【ネットを使う良い点は？】《児童の意見》
- 調べたいことが簡単に見つかる
 - タイピング練習になる
 - いろんなコンテンツを利用することができる
 - 自分の好みに合う番組や音楽を楽しむことができる
 - 世界とつながることができる
 - 新しい友達ができる
 - ネットショッピングができる（便利）

- 【ネットを使う悪い点は？】《児童の意見》
- いじめ ● デマの報道 ● コミュニケーション
 - 依存する
 - 家にとじこもる ● 犯罪に巻き込まれる
 - チェーンメール ● 性格が変わる
 - 個人情報が出れる
 - 課金でお金を使う（使いすぎる）

インターネットは、みんなの暮らしを支える、なくてはならないものとなっています。
 しかし、その使い方を間違えると、危険なことがいっぱいあります。インターネットの使い方によって、人生を変えてしまうこともあるのです。

②『ネットいじめ』について考えよう



【『ネットいじめ』とは、どんないじめ？】

- インターネットを使ったいじめ
- SNS等で、悪口を書いたり、相手を見下したり、仲間外れにしたり、他人の写真を勝手に投稿したりすること

【『ネットいじめ』は、どんな危険がありますか？】

- 学校にいる時だけでなく、家でも、休日でも、どんな時でも『ネットいじめ』が起こる（24時間、いつでも、どこでも、だれからでも）
- だれからいじめられているかわからないこともある（今は、調べることができる：SNSは、管理者が見ている）
（LINEの監視員がいる）
（過去にさかのぼって調査される
依頼してアカウント検索をかけると2ヶ月以内で誰が書き込んだのかわかる）
- 書き込んだことは（書き込んだ人が書き込みを削除しても）ずっと残る
（書き込みをした人は、自分の人生に影響を与える大人になった時に、子どもの時にしていたことを取り上げられることがある）
- いじめた内容を、他の人に簡単に広めることができる
- ネットいじめがあることは、外からはわからない
- 文章（書き込み）だけでやりとりをするため、トラブルになりやすい

子どもたちは、『ネットいじめ』について、さらに身近な例を挙げて考えてみました。

- ネットを使わないいじめは、近くの人に関係し、無視や殴ったり蹴ったり暴言を吐かれたりする暴力があるのに対して、ネットいじめは、遠くの人にもいじめに関与する。
- ネットを使わないいじめは、直接の行為だが、ネットいじめは、LINEやSNS等を使っていじめてくる
- ネットを使わないいじめは、いじめている人の顔がわかりやすいのに対して、ネットいじめは、いじめている人の顔がわかりにくい。
- ネットを使わないいじめは、加害の人が知っている人（身近な人）に対して、ネットいじめの加害の人は、知らない人・会ったこともない人からもいじめられる

平荘小学校で起こっているネットトラブルは、全校生にアンケートをとった結果、オンラインゲームの中で起こっているようです。（児童会より）
・暴言・あおり・悪口・いじり等、ボイスチャットや文字のチャットを通して、誹謗中傷して、相手を傷つけています。

上記は、オンラインゲームの中でのトラブルを紹介しましたが、実際には、書き込みによって人を傷つけているケースもあります。



《みんなで考えましょう》

【ゲームの中で、ネットいじめやトラブルが起こるのはどうしてでしょう？】

- むぎになっているから
- 勝ち負けにこだわり過ぎているから
- 【どうしたら、ゲームの中でトラブルを避けることができるでしょう？】
- 相手の気持ちを考えて行動する
- 友達だからと甘えているので、甘えない
- 相手に対して挑発行為をしない（繰り返さない）
- 自分たちでルールを決めた方が守りやすい

高学年集会のまとめ（児童会より）

今日話し合ったことを、低学年にも伝えまします。『平荘小学校 ICT のルール』に、『LINEなどの書き込みで友達を傷つけません。』『楽しんでゲームをするために、暴言やあおりなどで相手を傷つけません。』を新たに加えようと思います。賛成の人は拍手をお願いします。

拍手

いじる行為は、決して許すことはできません。友達や知らない人から傷つけられていい人は一人もいません。『いじめ（ネットいじめ）』について、一人で悩まず、困った時は、周りの大人に相談しましょう。自分の言動に気をつけて相手を大切にしましょう。その行為は、自分を大切にすることにも繋がっています。